

自然エネルギーを活用した 地域の自立に向けて ～ 役員会において太陽光発電の設置を決定 ～

このたび、竜丘地域自治会役員会において、竜丘地域自治会による生涯学習センター（竜丘公民館・竜丘自治振興センター）への太陽光発電の設置の是非について協議されました。背景には、国において全量買取制度が導入され、原発事故以来、地域エネルギーの地産地消の必要性が叫ばれていること。太陽光発電による収入確保により、地域自治会の安定的な組織運営が可能となること。竜丘地区基本構想に位置づけた「環境・文化地区」を実現するため、自然エネルギーの自給率のアップに貢献できることなどがあげられます。

協議では、「設置等に係る初期投資については、現在ある基金を有効に活用すべきだ。」「独自財源を地域課題の解決のために充当すると良い。」「役員会は、総会に次ぐ議決機関であり、役員会の決定に基づき各区会において丁寧な報告をしてもらい、合意形成を進める必要がある。」「電気利用組合が創設された過去の歴史から設置していくべきだ。」との意見が出され、現在ある基金を活用し、平成26年度中に、自前で太陽光発電を設置することが決定されました。

規模については、センターの屋根の許容範囲から、13キロワットの太陽光発電を設置することになります。

設置については、市の屋根を借用することになるため、今後、再エネ条例に基づいた市との調整や施工業者の選定等、設置に向けた具体的な取り組みを進めていく予定です。

（区長会）



心をひとつに防災力を高める

～春季非常招集訓練・消防技術大会分団大会の開催～

地域の皆様の日頃の消防団活動に対するご理解ご協力、誠にありがとうございます。

第7分団では、5月18日（日）に春季非常招集訓練、6月8日（日）に消防技術大会分団大会を行いました。

春季非常招集訓練は、万寿山山頂の鉄塔付近を火元と想定して訓練を実施しました。この訓練は、幹部が一新されてから初めての訓練ということもあり、命令系統や安全委員会・日赤奉仕団との連携の確認をするなど、重要な訓練となりました。この訓練の経験を今後に生かしていきたいと思えます。

消防技術大会分団大会は、竜丘小学校グラウンドで行われ、桐林班、駄科班、長野原班、時又班、上川路班が日頃の訓練の成果を発表しました。その結果、小型ポンプの部では、昨年に続いて駄科班が優勝しました。

消防車の部では桐林班、小型ポンプの部では駄科班、長野原班が飯田市消防技術大会に出場。6月29日（日）に開催された同大会では、消防車の部で第3位、小型ポンプの部では駄科班が第4位となり、飯伊消防技術大会へ出場いたします。

（飯田市消防団第7分団 分団長 下平 勝哉）



乗合タクシー側面的支援 ～ 福祉健康委員会事業 ～

福祉健康委員会では、平成24年度に75歳以上のアンケート調査を実施しました。

結果、買い物弱者・ゴミ出し・組合の役が出来ない等、高齢者を取り巻く問題が浮き彫りとなりました。

その中で、公共交通（乗合タクシー）の利用者拡大の為、草の根的に足元から広げていったらどうかと考えました。昨年度は、説明会だけでは人は集まらないと思い、他の行事とリンクさせながら、昨年は市の公共交通担当者と自治振興センター職員で各地区の敬老会・いきいき・サロン等で実施しました。案内チラシなどの効果もあって評判は上々。直ぐに乗車率が上がるという、結果が見える事業ではありませんが、まずは知らせることが重要だと考えています。

今年度は各地区の福祉健康委員が体験乗車をして、説明会を計画しています。皆さんも、是非一度乗ってみませんか？そうすることにより、今より本数が増え一層便利になると思います。

（福祉健康委員会 委員長 園原 忠敏）



年々工夫されてきている古墳まつり

今年で7回目を迎える古墳まつりも地元に着して参りました。昨年からは古墳の会も発足し、塚原二子塚古墳・鎧塚古墳・馬背塚古墳共に周辺の草刈り作業を、古墳公園・遊歩道整備委員会・その他多くの方々の協力で事前準備を行いました。今年は梅雨入りが早く、前日は雨天により準備は中止、当日準備も天候を考慮し、会場テントを縮小など計画を変更しました。



開会式を9時から始め、今年は小学6年生の中島さん、山田さん2名から古墳めぐりの感想文の発表をしてもらいました。地域の方々への感謝の言葉や古墳にもっと関心を持って学習したいと話してくれました。また、古墳の会の小林さんから説明も頂きました。時又保育園のマーチングは今回見送られましたが、鈴岡太鼓演奏で華を添えて頂きました。体験コーナーでは、勾玉・富本銭づくり、火起こし体験、古代米の炊込、新たに塚原古墳めぐりクイズ等色々な面で毎年少しずつ工夫されてきています。最後に6年生が自作の埴輪と撮影をして幕を閉じました。

（育成委員長 塩澤 和至）

実年おやじの親睦団体「上川路 弘法会」

「弘法会」名前の由来から話を始めます。上川路を見下ろす最も高台に弘法大師・庚申様を祭った石碑のある憩いの場所があります。昔から弘法様、弘法様と呼び親しまれている場所です。そこより会の名前を付けたと記憶しています。会が結成されたのが平成6年今年で21年目に入ります。

対象年齢は54歳より70歳まで（任意で残留可能）となっており現在32名を以て活動しています。会の一番目標は「会員同志の親睦を図る」ことにあり。年代層を超えた者同志酒を酌み交わしながらの親睦・情報交換など大変に楽しい場となり、そんな中より地域の発展につながるような建設的な意見も飛び出していきます。

会の地域奉仕活動として、現在◆県道時又・中村線のゴミ拾い◆竜丘一号公園草刈り、ボタンの里マレットゴルフ場・池の周りの除草、泥上げ整備◆上川路まつりへの協力（マス焼き、焼き芋、花火の打ち上げ）などがあります。

現在、会の抱える悩みはどこの任意団体も同じだと思いますが、会員増強です。対象の年代者には案内を出してありますが、是非入会したくなるような魅力ある会にしていきたいなあと考えております。

（上川路弘法会 会長 塚平英行）

